日本植物新產地報知（其一）

加藤彌榮

Y. KATO: Narratio Zonæ Novis Plantarum Japonicarum (I)

私ハ官用ニテ北アルプス以西、近畿、中國方面ニ掛ケテノ山地植物ニ接スル機會ガ多イノデ今其ノ分布ニツイテ未ダ知ラレテキナイダラウト推察サレル十數種ノ植物ニツイテ述ベテミヨウト思フ今後モ許サレルナラバ引續キ述ベサセテ戴キタイト思ツテキル。

掲載植物ノ標本ハイヅレモ筆者ノ手許ニアルコトヲ附言シテ置クト共ニ種々御鑑定下サツタ諸先生ニ感謝ノ意ヲ表スル次第デアル。　　（於大阪營林局）

1) **しろうまりんだう** (*Gentiana Yabei* TAKEDA et HARA)

本種ハ高山植物中ノ珍品ニ屬シ今迄白馬鑓ケ岳附近ニノミ產スルコトガ知ラレテキタ。私ハ昨 13 年 7 月末カラ 8 月初旬ニカケテ白馬岳地方ニ出張中、極力本種ヲ捜シタガ見出シ得ナカツタ。トコロガ同年 9 月下旬カラ 10 月初旬ニカケテ再ビ出張シタ節、10 月 2 日偶然ニモ越中淸水岳ノ頂上 (2605 m.) ヨリ可成リ下方 2500 m. 附近ノ岩礫地ニ於テ、たかねせんぶり (*Swertia micrantha* TAKEDA) うすゆきさう (*Leontopodium japonicum* MIQ.) ひめはなわらび (*Botrychium Lunaria* SW.) いはじやかうさう (*Thymus Przewalskii* NAKAI) 等ト混生シテナカバ枯レカヽツタ本種ノ數十株ヲ見出シタ。コレニヨツテミルニ開花ノ盛リハ 9 月下旬ナラント思ハレル。10 月 4 日白馬鑓ケ岳ニ於テモ採集シタガ自生地ハ淸水岳ト同樣ノ岩礫地デ附近ニハヤハリ前者ト同ジクうすゆきさう、ひめはなわらび、たかねせんぶり等ガ生ジテキタ。淸水岳ノモノハ新產地ト思ハレルノデ一寸發表シタ次第デアル。

2) **やへちんぐるま** (*Sieversia pentapetala*. f. *plena* TATEWAKI)

本種ハ普通ノちんぐるまノ花ノ重瓣ニナツタモノデアル。昭和 11 年 8 月大阪營林局技手山本勝市氏ガ越中淸水岳ノ 2400 m. 附近デ見出サレタモノデアルガ私モ昨 12 年 7 月 30 日ソノ自生ヲ見ルコトガ出來タ。コレハ普通ノちんぐるまノ間ニ一區劃ヲ限リ本種ノミノ集團ヲナシテキル。開花時ニハ一見シテ直チニ普通種ト區別ガ出來ル。私ノ調査シタ範圍内デハ他ノ高山ニ於テコレヲ未ダ見ナイ。

3) **ちしまつめくさ** (*Sagina saginoides* BRITT)

本種ハ樺太、千島方面ニ產スルモノデアルガ昭和 10 年 8 月、コレガ北アルプス鹿島鎗ケ岳 (2890 m.) ノ 2600 m. 附近ノ岩礫地ニ於テ數株發見サレタ。コレモ亦他處ニ於テハ未ダコレヲ見ナイ。分布上注目スベキモノナランカト思考サレル。

4) **はこねこめつつじ** (*Tsusiophyllum Tanakae* MAXIM)

本種ハ相州箱根山彙、武藏國秩父地方並甲斐國、信濃國ノ一部分ニ產スル比較的分布ノ狹イ本邦特產植物デアルガコレガ遠ク越中國立山五色原ト藥師岳トノ間ニアル越中澤岳 (2560 m.) ニ於テ一昨 11 年 8 月發見シタ。分布上稍〻珍シト思ハレル。

5) **みくりぜきしやう** (*Juncus oligocephalus* SATAKE et OHWI)

本種ハ加賀ノ白山ヲ南限トシテ立山、尾瀬、吾妻山、八甲田山、北海道、千島ニ分布スル比較的稀産ニ屬スル植物デアルガ越中國清水岳ノ清水小屋下附近(標高 2000 m.)ノ路傍ノ濕潤地ニモ可成リ産スル。黑部側カラ白馬岳ニ登ルモノハ一寸注意スレバ採集出來ル。

6) **やへきばなしやくなげ** (*Rhododendron chrysanthum* PALL. var. *senanense* YABE)

本種ハきばなしやくなげノ雄蕊ガ瓣狀ニ化シタモノデ低級ナ重瓣花ヲナシテキル。産地トシテハ八ケ嶽、西駒ケ岳、白馬岳等ガ知ラレテキル。私ハ昨 12 年 7 月末越中清水岳ト旭岳トノ中間旭岳寄ノ地デ可成リ重瓣花ノ見事ニ形成サレタ大キナ一株ヲ見出シタ。

7) **しろばなうるつぷさう** (*Lagotis glauca* GAERTN. f. *albiflora* HONDA)

本種ハうるつぷさうノ白花品ニ過ギナイ。私ハ昨 12 年 7 月末日白馬岳一帶ニ産スルうるつぷさう群ニツキ可成リ細カク調査シタガ白花品ハ纔カニ 9 株ヲ見出シタノミデアツタ。

8) **しろばななんきんこざくら** (*Primula cuneifolia* LEDEB. var. *hakusanensis* MAKINO. f. *albiflora* MAKINO)

本種モなんきんこざくらト違ハナイガ唯花ノ白色ナルモノヲイフ。私ハ昨 12 年 7 月末清水岳 2400 m. 附近俗稱「猫ノ踊場」附近ニ於テ普通種ノ中ニ一團トナリ咲キ亂レテキタノヲ見タ。コノ場所以外ノ地デハホトンドコレヲ見ナカツタ。

9) **はごろもぐさ** (*Alchemilla japonica* NAKAI et HARA)

本種ハ我國ニ於テハ稀産ニ屬シ北海道、北岳、荒川岳、白馬岳及水晶岳ニ産スルコトガ知ラレテキル。私ノ實見ニヨレバ白馬岳ニ於テハ路傍ニ於テモ多ク見當ルガ水晶岳 (2978m.) ノモノハ餘程谷間ニ下ツタ所ニノミ生ジテキルノデ普通行ツテモ仲々見出シ難イ。然シ産量ハ可成リ多イ。尙コノ水晶岳ハ北アルプス中白馬岳ニ次デ各種高山植物ノ産スルコトノ多イ山デアル。北アルプス中ちやうのすけさう (*Dryas octopetala* L. var. *asiatica* NAKAI), うらじろきんばい (*Potentilla nivea* L.), ほそばつめくさ (*Minuartia verna* HIERN. var. *pulchella* NAKAI) 等ノ最モ多ク産スルノモ本山デアル。

10) **くらがりしだ** (*Drymotænium Miyoshianum* MAKINO)

本種ハ本州ノ中南部カラ四國ニカケテ分布スル比較的稀産ノ着生羊齒類デアル。

私ハ去ル 3 月 27 日大和國高取山國有林ノ調査ニ行ツタ節、保護林中ニアルつくばねがしノ大樹ノ樹幹ニ着生シ見事ナ生長ヲナシタ數十株ノ本種ヲ見出シタ。私ハカツテ飛驒國ト安藝國トデ採集シタコトガアルガイヅレモ貧弱ナモノデアツタ。蓋シコノ樣ニ一ケ所ニ澤山着生シテキ、而モヨク生長ヲナシテキル處ハ誠ニ少ク珍重保存スベキ價値ガアルモノト思ハレル。本種ノ大和國ニ於テ初メテ發見サレタ記錄ハ昨年夏多武峯村（櫻ニ着生僅ニ一株）ニ於テ林田保太郎氏ニヨツテ採集サレタモノデアラウカ。當高取山ニ於テハつくばねがしノ外こなら、やまかへで等ニ着生シテキルノヲミル。又本種ニ對シテハ「行者上ゲ」トイフ方言的呼稱ヲ持ツテキル。

尙コノ附近ニハくわんさいえのき (*Celtis Hashimotoi* KOIDZ.) ガ稀ニ生ジテキル。

11) **おほきよずみしだ** (*Polystichum Mayebarai* TAGAWA)

此種ハ九州ニ於テ前原氏ニヨツテ發見サレ京大ノ田川基二氏ガ命名サレタモノデアル。私ハ本年 1 月 18 日大和國室生山國有林ニ出張ノ節コレヲ見出シタ。コノ時室生山ハ全山ホトンド殘ス所ナク歩イタガ本種ノアツタノハ唯一ケ所ノミデアツタ。自生場所ハ寺ヨリ可成リ手前デ公道ヨリ少々中ニ入ツタ半陰地デ約 30 株程群生シテヰタ。稍々分布上珍シト思ハレル。實ハ私ハ一見シタ時ドウモ變ツタ羊齒ダト思ツテ採集シテ來タノデアルガ田川氏ノ御鑑定ノ結果ソノ正名ガ判然シタ樣ナ譯デアル。尙本山ニハ おほちやるめるさう (*Mitella japonica* MAXIM.), ゐのでもどき (*Polystichum pseudo-Makinoi* TAGAWA var. *ambiguum* TAGAWA) いはやしだ (*Diplaziopsis javanica* C. CHR.) いよくじやく (*Diplazium Okudairai* MAKINO), ちやぼつめれんげ (*Meterostachys sikokianus* NAKAI), べにしゆすらん (*Goodyera macrantha* MAXIM.) むろうまむしぐさ (*Arisæma Kishidai* MAKINO) むろうてんなんしやう (*A. yamatense* NAKAI var. *typicum* NAKAI) 等ヲ産スル。

12)　**うらじろうこぎ** (*Acathopanax hypoleucum* MAKINO)

本種ハ四國ノ諸山ニ生ジ本州ノ南部カラ中部、信州、武州等ニ迄分布スル小灌木デアルガ、私ハ一昨年夏コレヲ伊吹山ノ頂上カラ可成リ西寄リニ下ツタ地ト大和國大峯山麓洞川トニ於テ採集シタ。大シテ分布上珍シイモノ程デモナイガ新産地ト思ハレルノデ揭ゲタ。

13)　**まめつげ** (*Ilex crenata* THUNB. var. *convexa* MAKINO)

本種ハいぬつげノ葉ノ葉緣ノ内ニ卷込ンダモノデアリ廣ク庭園ニ植栽サレテヰル。私ハ一昨年ノ夏本種ノ野生ヲ伊吹山三合目附近ニ於テ 5 株ヲ、一ハ京都修學院ノ裏山デ 3 株ヲ發見採集シタ。他デハ未ダコレヲ見ナイ。

14)　**いぶきはたざほ** (*Arabis gemmifera* var. *alpicola* [KOIDZ.] HARA)

コレハ江州伊吹ノ八、九合目カラ頂上附近ニ産スルはくさんはたざをニ似テ毛ノ頗ル多イ植物デアルガ私ハ一昨年 8 月コレヲ大峯山系中ノ大普賢岳ノ斷崖邊デ採集シタ。大峯山系中ノ他山デハコレヲ見ナカツタ。コノ附近ニハやまとふうろ (*Geranium shikokianum* var. *yamatense* HARA), たうき、ほたるさいこ、ゆきわりさう、つまとりさう、うすゆきさう。ちしまぜきしやう、いははたざほ、いぶきとらのを、いはおとぎり等ガ生ジテヰル。

15)　**ひろはどうだんつつじ** (*Enkianthus perulatus* var. *japonicus* NAKAI)

本誌第 12 卷第 12 號デ中井博士ガどうだんつつじガ伊豆ニモ自生スルコトニ付テ御書ニナツテヰラレルガコレニツイテ私ノ鄕里三河産ノどうだんつつじニツイテオクレバセナガラ私ノ知レル範圍内デ報告シテ見タイト思フ。豐橋市カラ 3 里餘リ北ニ入ツタ三河ト遠江ヲ界シテヰル赤石山脈中ノ諸山 (標高 200～350 m) ニハ可成リ自生シテヰル。特ニ雨生山、甚古山等ニハ多イ。附近ニハあぶらつつじ、ちちぶどうだん等モ自生シテヰルガ花及紅葉色等ニヨリ區別シホトンド混同スルコトハナイ樣デアル。産量ハどうだんつつじガ一番多ク群生シテヰル。附近一圓ノ好事家ハコノ地方ノどうだんつつじヲ掘リ取ツテ來テ庭ニ植エ込ンデヰル。私ノ自家ニモ父ガ雨生山トイフ山カラ澤山取ツテ來テ庭ニ植込ンダモノガ現ニ數十株アリ立派ナ生長ヲ遂ゲ毎年見事ニ開花シテヰル。コノどうだんつつじハ葉ノ廣イ種類デひろはどうだんつつじ (*E. perulatus* var. *japonicus* (HOOKER fil.) NAKAI)

ニ當テハマルモノト思ハレル。尙附近ニハあさまつげ *Buxus japonica* MUELL. ARG.) ノ純林ガ廣範圍ニ亘ツテアル。尙三河赤阪町附近ノ宮路山ノどうだんつつじトイフノハ實見ニヨレバ全部あぶらつつじデアル。其ノ他三河奥地ニ於テ どうだんつつじト云フノハ大部分ちちぶどうだんデアルコトヲ知ツタ。

○あさひざさ *Sasa capillaris* NAKAI（中井猛之進）

此あさひざさナル筐ハ畠山久重氏ガ昭和 4 年ニ採集シテ持參シタ時カラノ疑問品デアルガ同氏ノ言ヲ信ジテ葉ヲ附ケル若キ稈ト花莖トヲ同一植物トシテ發表シタノデアル。其後斯樣ナ標本ハ誰モ送ツテ來ヌシ私モ現地ニ行ク機會ガナイノデ今モ尙ホ疑念ヲモツテキル。然ルニ小泉氏がなすのみやますずト共ニ鍮玉ニ擧ゲテ葉枝ハ ちしまざさ花序ハかつしざさダト喝破シタ。一應ハ至極御尤モト思フガ私ガ疑念ヲ持ツ點卽チ稈ト 花莖トハ或ハ別物デハナイカト云フ點ヲサウダト 肯定スルナラバ稈ハ ちしまざさデハナクテながばちしまざさデアツテ花莖ハ ふたあらざさカ又ハ其レニ類スル別種ダト思フ。而シテかつしざさノ花序卽チみやますず系ノ花序トハ 似テモ似ツカヌモノデアル。斯樣ナコトハ 急イデ定メルコトハアルマイ。其中機會ヲ得タラ現地デヨク確メ得ル問題デアル。

○日本隱花植物圖鑑ヲ紹介スル（久內淸孝）

中井、本田兩博士監修ノ「大日本植物誌」ヲ逐次刊行シテ、洛陽ナラヌ 帝都ノ紙價 ヲ高メメツヽアル三省堂ハ 春頭ニ當リ、朝比奈博士監修ノ 「日本隱花植物圖鑑（四六判、1050頁、495 圖版、5 着色圖版)」ヲ提供シタ。本書ハ粘菌ヲ江本氏、藻類ヲ岡田氏、菌類ヲ小林、今關、朝日山ノ三氏、地衣類ヲ朝比奈、佐藤兩氏、苔蘚類ヲ堀川氏ガ夫々分擔執筆シテ居ル。從ツテ、各部門共、專門家粒揃ノ 分擔デ出來上ツタモノデアル。特ニ地衣類ニ於テハ、朝比奈博士ガ監修ノ裃ヲ脫ギ捨テ、一介ノ 分擔者トシテ佐藤氏ト共ニ一役買ツテ居ルノハ面白イ。

植物界中、此ノ部門ハ其種極メテ多ク、其全部ヲ短日月デ悉ク一書ニ收メルコトハ、現在ノ人間業デハ容易デナイ。從ツテ、其總テヲ本書ガ網羅蒐錄シテ居ル筈ハ無イコト勿論デアルガ、本書ニヨリ、隱花植物ノ一般的高等知識ヲ正確ニ得ラレ、マタ斯道ニ志スモノニトリ、本書ガ有效適切ナル好伴侶ノ一デアルコトハ言ヲ待タナイ。ト云フノハ本書ハ、各部每ニ解說ガアリ、圖解ガアリ、マタ種類每ニ圖版ガアルカラデアル。從來我國ニハ、此種、此程度ノ書ガ少カツタ爲、一般人ハ此方面ノ檢索上、多大ノ不便ヲ感ジテ居タノデアツタガ、本書ノ出現ニヨリ、從來ノ不便ガ一掃サレタトハ云ハナイガ、非常ニ緩和サレタコトハ間違ナイ事實デアル。其意味ニ於テ此出版ハ劃期的デアル。マタ、吾人ハ未曾有ノ時局ニ、尙斯クノ如キ立派ナモノガ登場シ得ル、我ガ國力ノ偉大サニ驚嘆スルト同時ニ、感謝ノ念ノ湧クヲ禁ジ得ナイ。シカシ、時局ノ影響カ、圖版ノ印刷ガ校正刷ニ比シヤヽ見劣リスル樣ニ感ゼラルヽノハ遺憾デアルガ、其點ハ出版者ニ於テ注意ヲ怠ラナイナラバ、他日本書ヲ土臺トシ出現スベキ更ニ大ナル、日本隱花植物圖鑑ガ出現ノ曉、改善サレルコ

トハ易々タルコトデアラウ。倘、將來改版ノ際ニハ、數人デ各部門ヲ擔當スル場合、一々分擔者名ヲ挿入シタ方ガ一層便利デアラウ。

筆者ハ隱花植物ヲ語ル資格ハナイカラ批評ハシナイ。何ントナレバ、本書ノ各分擔執筆者ノ如キ精鋭ノ分業業蹟ニ對シ、批評ノ必要モ餘地モ存シ無イカラデアル。倘編輯ニ熱心ナリシ諸氏ノ態度ヲ熟知スル筆者トシテハ倘更デアル。糊ト鋏トノ利用トハ無關係ニ出來上ツタ本書ニ對シテハ批評ノ必要ガナイノデアル。依テ余ハ本書ヲ紹介スルニ止メテオクガ、嚢中ノ錐ハ自カラ其鋭端ヲ嚢外ニ現ス諺ノ如ク、既ニ本書ハ讀書界ニ自カラ頭角ヲ現シテ居テ、改メテ紹介スルダケ野暮ナ程普及シテ居ルノカモ知レナイ。

○新雜誌 "Borbásia" ヲ紹介スル (佐藤正己)

ハンガリーノ地衣學者 V. KÖFARAGÓ-GYELNIK ガ自分ノ主宰スル新雜誌 "Borbásia" ヲ朝比奈博士ノ許ニ送リ、日本ノ同好者ニ紹介ヲ依賴シテ來タ。筆者ハ主幹ノ命ニヨリ次ニ少シク同誌ノ內容ヲ紹介シヨウ。

誌名ハハンガリーノ植物學者 BORBÁS VINCÉROL (1844. VIII. 29—1905. VII. 17) ヲ記念シタモノラシク、別刷圖版ニ同氏ノ肖像ガ揭ゲテアルガ、創刊之辭ガハンガリー語デ書イテアルタメニ殘念ナガラ委細不明デアル。

同誌ハ植物分類學及ビ植物地理學ヲ中心トシタモノデ、形學ヤ生理學ニ關スルモノ及ビ應用ニ屬スルモノハ一切含マナイコトニナツテキル。ソノ代リ取扱フ範圍ハ隱花•顯花ノ區別ナク又化石植物ヲモソノ對照トシテキル。

雜誌ノ大キサハ植物研究雜誌ト全ク同一デアリ、地衣學者ガ主幹デアル點ナドハヨク似テキル。發行ノ形式ハ不定期刊行物デ、1 卷ハ 10 號ヨリナリ、1 號ハ約 16 頁アル。現在マデニ出版サレタモノハ Vol. I, No. 1 (1938. II. 15), No. 2 (1938. VIII. 15), No. 3/7 (1939. IV. 15) デアル。今迄ノ分デハ地衣ヤ菌類ニ關スルモノガ多ク、執筆者ノ數モ少イガ、今後ハ廣クアラユル部門ニワタリ執筆者モ色々變ルコトデアラウ。H. des ABBAYES (佛)、J. LANGERFELDT (獨)、A. HORVAT (羅) 等ヲ顧問トシテ夫々論文ノ語學上ノ誤ヲ訂正スル仕組ナドハ中々愼重デアル。印刷モ漸次ヨクナツテハキルガ、今一段ノ進步改良ガ望マシイ。殊ニ別刷圖版ノ汚イノガ目ニツク。現在ハ主幹 GYELNIK ガ自費出版ヲヤツテキル樣デアルガ、何處カ大キナ書店ニデモヤラシテ豐富ナ資本ヲ動員シナケレバ、コノヨイ企モ立派ナ實ヲ結ブコトハ出來ナイノデアルマイカ。

分類學專門ノ新雜誌 "Borbásia" ノ誕生ヲ祝シ、ソノ健全ナ發展ヲ祈ル。